スクリューキャップ トルクメータ TD/TD-Hシリーズ

WinCT-TD
Windows用データ通信ソフトウェア

取扱説明書



株式会社エー・アンド・デイ

1WMPD4006024A

警告サインの意味

⚠ 危険

- **「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合」について記述します。**

⚠ 警告

- **「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合」について記述します。**

⚠ 注意

- **「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うか、物的損害が発生する危険が生じることが想定される場合」について記述します。**

図記号の意味

 禁止	してはいけないこと（禁止）を示します。
 強制	必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。

その他表記の意味

注記

- 正しく使用するための注意点の記述です。

参照

- 関連情報の参照先についての記述です。

補足

- 機器の使用に役立つ情報です。

HINT

- YouTube動画リンクの記述です。

ご注意

(1) 本書の一部または全部を、株式会社エー・アンド・デイ（以下、弊社）の書面による許可なく、転載・複製・改変することはできません。

(2) 本書の内容は将来予告なく変更することがあります。

(3) 本書の内容について、ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

(4) 弊社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、前項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2026 株式会社 エー・アンド・デイ

- Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、弊社によるマークの使用はライセンスに基づいています。
- Microsoft®、Windows®、Word®、Excel®は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- 本書に記載されている製品名、社名、およびロゴなどは、日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

目次

1. 製品概要 6
2. 使用許諾 7
3. 使用前の準備 8
    3.1. 対応製品 8
    3.2. 動作環境 8
    3.3. WinCT-TDのインストール 8
    3.4. 対応製品の接続 9
4. 通信仕様 10
    4.1. USB Type-C接続 10
    4.2. RS-232C接続 11
    4.3. Bluetooth接続 11
5. WinCT-TDの操作 13
    5.1. WinCT-TDの起動と接続 13
        5.1.1. WinCT-TDを起動する 14
        5.1.2. 対応製品に接続する 14
        5.1.3. 接続を解除する 15
    5.2. 画面共通の機能 15
        5.2.1. 製品情報 17
        5.2.2. WinCT-TDバージョン 17
        5.2.3. Main画面 17
        5.2.4. 設定画面 17
        5.2.5. 時系列グラフ画面 18
        5.2.6. 表示するシリーズの切り替え 18
    5.3. メモリデータを操作する 19
        5.3.1. メモリデータを読み込む 21
        5.3.2. 表示中のメモリデータを消去する 22
        5.3.3. メモリデータをインポートする 23
        5.3.4. メモリデータをエクスポートする 23
        5.3.5. メモリデーター覧を確認する 24
    5.4. データフィルタ、統計およびグラフ分析 25
        5.4.1. ラベルで絞り込む 27
        5.4.2. 計測方向で絞り込む 27
        5.4.3. 日付で絞り込む 27
        5.4.4. 判定結果で絞り込む 28
        5.4.5. フィルタを適用する 28
        5.4.6. フィルタをリセットする 29
        5.4.7. 統計結果を確認する 29
        5.4.8. グラフ表示を変更する 29
        5.4.9. グラフのプロットを確認する 30
    5.5. 設定値を操作する 31
        5.5.1. 設定値を読み込む 33

目次（続き）

5.5.2. 設定値を書き込む 33
5.5.3. 設定値をエクスポートする 34
5.5.4. 設定値をインポートする 35
5.5.5. ラベル番号を切り替える 35
5.5.6. 計測設定と共通設定を変更する 36
5.6. 時系列グラフを操作する 36
5.6.1. ストリーム受信を開始する 38
5.6.2. ストリーム受信を停止する 39
5.6.3. 波形の表示内容を確認する 39
5.6.4. 波形データをエクスポートする 39
5.6.5. 波形データをインポートする 40
5.6.6. グラフを操作する 40
5.7. WinCT-TDを終了する 41
6. 使い方・修理に関するお問い合わせ窓口 42

1. 製品概要

WinCT-TDは、株式会社エー・アンド・デイ製スクリューキャップトルクメータTDシリーズおよびTD-Hシリーズ用のWindowsデータ通信ソフトウェアです。

WinCT-TDでは、対応製品の計測データを取得、表示、保存および解析できます。

対象読者

- 本書は、TDシリーズまたはTD-Hシリーズを使用する作業者を対象とします。
- 対応製品の操作方法および安全上の注意は、各製品の取扱説明書を参照してください。

2. 使用許諾

- 「WinCT-TD」を弊社に無断で複製する事は禁じます。
- 「WinCT-TD」の仕様および本書は予告なく変更することがあります。
- 「WinCT-TD」の著作権は、㈱エー・アンド・デイにあります。
- 「WinCT-TD」は、エー・アンド・デイ製スクリューキャップトルクメータとコンピュータを接続し、計測データの取得、表示、保存および解析に使用します。
- 「WinCT-TD」はエー・アンド・デイ製スクリューキャップトルクメータと接続するコンピュータのハードディスクまたはその他記憶装置に限りインストールして使用できます。
- ㈱エー・アンド・デイは「WinCT-TD」の欠陥または本書の不備により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があると告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

3. 使用前の準備

3.1. 対応製品

WinCT-TDは、次の製品に対応しています。

- エー・アンド・デイ製スクリューキャップトルクメータ TDシリーズ
- エー・アンド・デイ製スクリューキャップトルクメータ TD-Hシリーズ

3.2. 動作環境

WinCT-TDを使用するコンピュータは、次の動作環境を満たしてください。

項目	要件
OS	Windows 10 または Windows 11（64ビット版）
USBポート	USB 2.0以上の空きポート：1ポート
メモリ	4 GB以上（8 GB以上を推奨）
必要空き容量	500 MB以上

注記

- 動作環境を満たさないコンピュータでは、WinCT-TDが正常に動作しない場合があります。

3.3. WinCT-TDのインストール

1. 株式会社エー・アンド・デイのホームページ（https://www.aandd.co.jp/）から、WinCT-TDのインストーラー **WinCT-TD_setup.msi** をダウンロードします。
2. ダウンロードした **WinCT-TD_setup.msi** を実行します。

3. 画面の指示に従ってWinCT-TDをインストールします。

4. インストール先を変更しない場合、WinCT-TDは次のフォルダにインストールされます。

   C:\Program Files\A&D WinCT-TD

5. インストールが完了したことを確認します。

6. デスクトップにWinCT-TDのショートカットが作成されたことを確認します。



3.4. 対応製品の接続

対応製品とコンピュータを接続する前に、使用する接続方式に応じて対応製品の通信設定を変更してください。

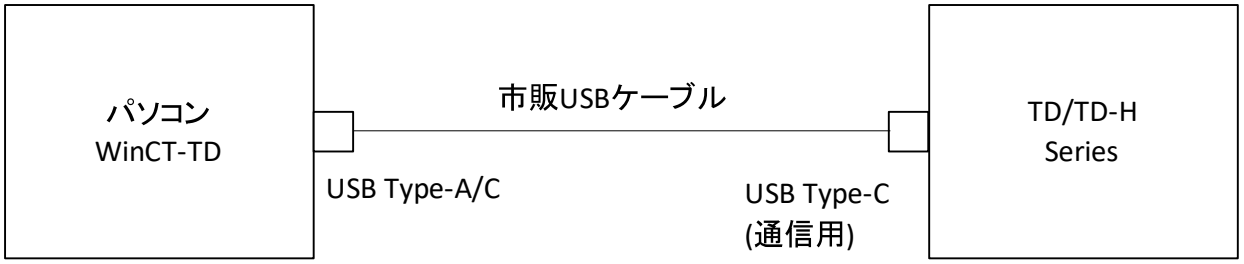
参照

- 対応製品との具体的な接続方法は、対応製品の取扱説明書を参照してください。

接続後、Windowsで割り当てられたCOMポート番号を確認してください。

4. 通信仕様

4.1. USB Type-C接続



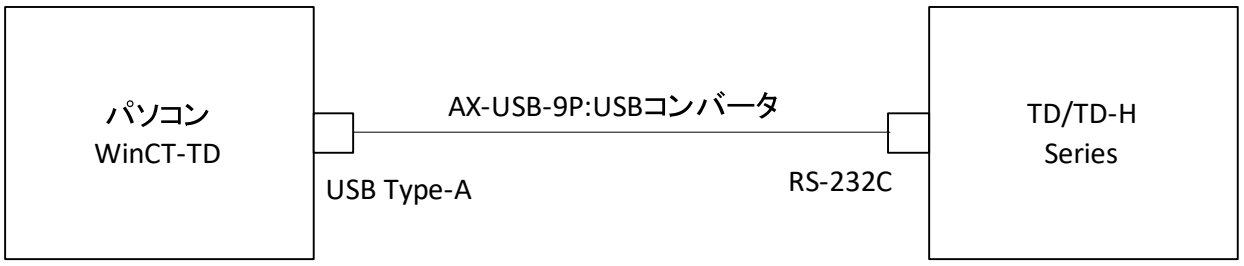
対応製品の通信設定では、次の値を設定してください。

- USB Type-C Baud Rate：115200 bps
- USB Type-C Bit Length：8 bit
- USB Type-C Parity Bit：None

通信仕様は以下です。

項目	設定値
対応製品出力ポート	USB Type-C
ボーレート	115200 bps
キャラクタビット長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット長	1ビット
終端文字	C_R L_F
コード	ASCII

4.2. RS-232C接続



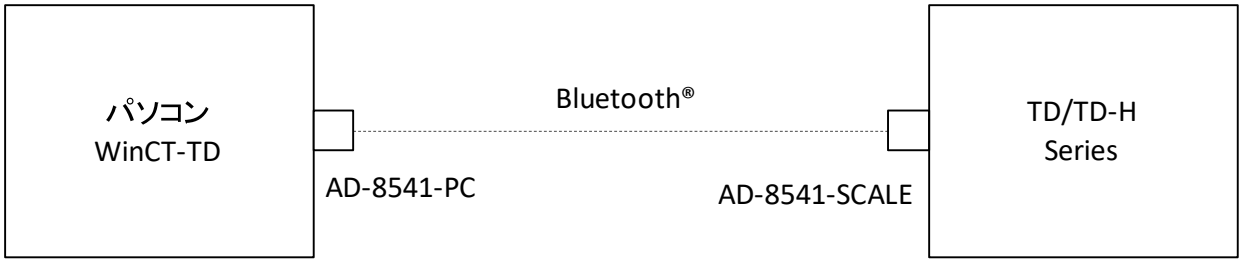
対応製品の通信設定では、次の値を設定してください。

- RS-232C接続モード：PC接続

通信仕様は以下です。

項目	設定値
対応製品出力ポート	RS-232C
ボーレート	2400 bps
キャラクタビット長	7ビット
パリティ	Even
ストップビット長	1ビット
終端文字	C_R L_F
コード	ASCII

4.3. Bluetooth接続



エー・アンド・デイ製AD-8541-SCALEおよびAD-8541-PCを使用すると、RS-232C通信をBluetoothで接続できます。

対応製品の通信設定は「4.2. RS-232C接続」と同様に設定してください。

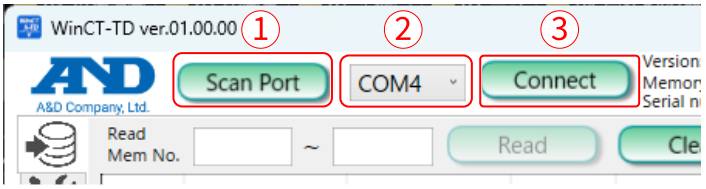
Bluetooth接続を使用する場合は、AD-8541-SCALEの通信設定を「**HID**」ではなく、「**双方向通信**」に設定してください。

参照

- Bluetoothの設定方法は、AD-8541-SCALEおよびAD-8541-PCの取扱説明書を参照してください。
- AD-8541-SCALE取扱説明書
- AD-8541-PC取扱説明書

5. WinCT-TDの操作

5.1. WinCT-TDの起動と接続



番号	名称	説明
①	**Scan Port** ボタン	使用可能なCOMポートを検索します。 TDシリーズまたはTD-Hシリーズとの接続が成功すると、**Scan Port** の表示は接続したデバイスによって表示が変更されます。 USB Type-Cで接続された場合は「**USB Type-C**」、RS-232Cで接続された場合は「**RS-232C**」と表示されます。 **参照** ■ 「5.1.2. 対応製品に接続する」
②	Port	接続先のCOMポートを表示または選択します。 **参照** ■ 「5.1.2. 対応製品に接続する」
③	**Connect** ボタン	選択したCOMポートを使用してTDシリーズまたはTD-Hシリーズに接続します。 **参照** ■ 「5.1.2. 対応製品に接続する」 ■ 「5.1.3. 接続を解除する」

番号	名称	説明
③	Disconnectボタン	TDシリーズまたはTD-Hシリーズとの通信を切断します。 **参照** ■ 「5.1.2. 対応製品に接続する」 ■ 「5.1.3. 接続を解除する」

5.1.1. WinCT-TDを起動する

1. **WinCT-TD.exe**をダブルクリックします。

   または、デスクトップのWinCT-TDショートカットをダブルクリックします。

2. WinCT-TDのメイン画面が表示されたことを確認します。

5.1.2. 対応製品に接続する

1. 対応製品とコンピュータを接続します。
2. WinCT-TDを起動します。
3. 接続するCOMポートが表示されていることを確認します。
4. COMポートが表示されない場合は、**Scan Port**ボタンをクリックします。
5. **Port**から、接続するTDシリーズまたはTD-HシリーズのCOMポートを選択します。
6. **Connect**ボタンをクリックします。
7. ボタン表示が**Disconnect**に変わったことを確認します。

Disconnectと表示されている場合、WinCT-TDは対応製品と通信できます。

接続後は、次の操作を実行できます。

- メモリデータのダウンロード
- 設定値の読み込み

- 設定値の書き込み
- ストリーム受信

補足

- ファイルのインポート、ファイルのエクスポート、統計処理およびデータプロットは、対応製品に接続していない状態でも実行できます。

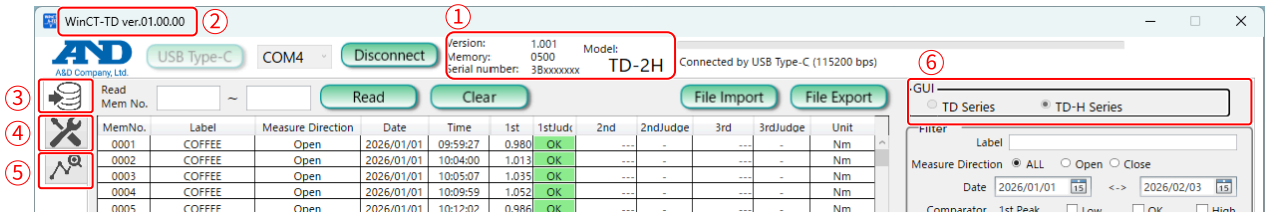
注記

- 接続に失敗すると、「**デバイスが応答しませんでした。**」とエラーダイヤログが表示されます。
  ケーブルやAD-8541などの接続状態、選択しているCOMポート、および対応製品本体の通信設定を確認してください。確認後、**Connect** ボタンを再度クリックしてください。

5.1.3. 接続を解除する

1. **Disconnect** ボタンをクリックします。
2. ボタン表示が **Connect** ボタンに変わったことを確認します。

5.2. 画面共通の機能



番号	項目	説明
①	製品情報	接続中のTDシリーズまたはTD-Hシリーズのソフトウェアバージョン、型式、メモリ件数およびシリアルナンバを表示します。 **参照** ■ 「5.2.1. 製品情報」
②	WinCT-TDバージョン	WinCT-TDのバージョンを表示します。 **参照** ■ 「5.2.2. WinCT-TDバージョン」
③	Mainタブ	Main画面を表示します。 **参照** ■ 「5.2.3. Main画面」
④	設定タブ	設定画面を表示します。 **参照** ■ 「5.2.4. 設定画面」
⑤	時系列グラフタブ	時系列グラフ画面を表示します。 **参照** ■ 「5.2.5. 時系列グラフ画面」
⑥	型式切替	TDシリーズ用画面またはTD-Hシリーズ用画面を選択します。 **参照** ■ 「5.2.6. 表示するシリーズの切り替え」

5.2.1. 製品情報

製品情報には、接続中の対応製品の次の情報を表示します。

- ソフトウェアバージョン
- 製品型式
- メモリ件数
- シリアルナンバ

5.2.2. WinCT-TDバージョン

WinCT-TDのバージョンを表示します。

5.2.3. Main画面

Mainタブをクリックすると、Main画面を表示します。

Main画面では、次の操作を実行できます。

- メモリデータの取得
- メモリデータの表示
- データフィルタの設定
- 統計処理
- グラフ分析

フィルタ条件は、メモリデータ表示、統計結果およびグラフ表示に反映されます。

5.2.4. 設定画面

設定画面タブをクリックすると、設定画面を表示します。

設定画面では、次の操作を実行できます。

- 対応製品の設定値の読み込み
- 対応製品の設定値の書き込み

- 設定値の変更
- 設定ファイルのエクスポート
- 設定ファイルのインポート

5.2.5. 時系列グラフ画面

時系列グラフ画面タブをクリックすると、時系列グラフ画面を表示します。

時系列グラフ画面では、次の操作を実行できます。

- リアルタイム波形の表示
- 波形データのエクスポート
- 保存済み波形データのインポート
- インポートした波形データの表示

5.2.6. 表示するシリーズの切り替え

WinCT-TDでは、TDシリーズ用画面とTD-Hシリーズ用画面を切り替えできます。

表示するシリーズによって、2nd Peak、3rd Peakおよび設定項目の表示内容が異なります。

対応製品に接続している場合、WinCT-TDは接続中の製品型式に応じて画面を自動で切り替えます。

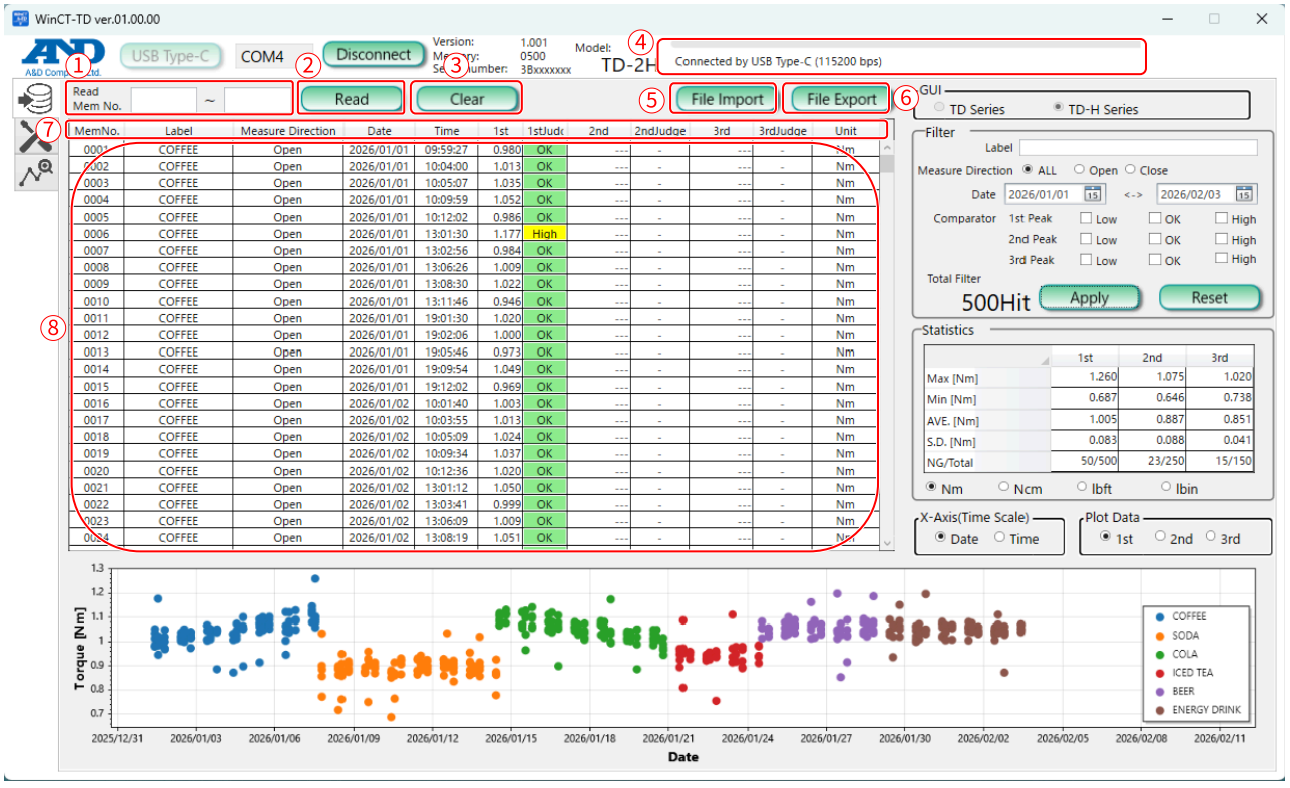
注記

- 対応製品に接続している間は、シリーズを手動で切り替えできません。

補足

- 対応製品に接続していない場合でも、メモリデータファイルのインポート／エクスポート、設定ファイルのインポート／エクスポート、およびWinCT-TD上での設定変更ができます。
- TDシリーズとTD-Hシリーズでは、表示項目および設定可能な項目が異なります。
  使用する製品の型式に合わせてシリーズを選択してください。

5.3. メモリデータを操作する



番号	項目	説明
①	[Read Mem No.]	読み込むメモリデータの開始番号と終了番号を入力します。 **参照** ■ 「5.3.1. メモリデータを読み込む」

番号	項目	説明
②	Read ボタン	メモリデータをTDシリーズまたはTD-Hシリーズから読み込みます。 **参照** ■ 「5.3.1. メモリデータを読み込む」
②	Cancel ボタン	メモリデータの読み込みを中止します。 **参照** ■ 「5.3.1. メモリデータを読み込む」
③	Clear ボタン	画面に表示しているメモリデータを消去します。 **参照** ■ 「5.3.2. 表示中のメモリデータを消去する」
④	進捗バー	メモリデータ読み込み中の進捗を表示します。 **参照** ■ 「5.3.1. メモリデータを読み込む」
⑤	File Import ボタン	保存済みのメモリデータを読み込みます。 **参照** ■ 「5.3.3. メモリデータをインポートする」
⑥	File Export ボタン	メモリデータをファイルに保存します。 **参照** ■ 「5.3.4. メモリデータをエクスポートする」

番号	項目	説明
⑦	メモリデータヘッダ	クリックした列を基準にデータを並べ替えます。 **参照** ■ 「5.3.5. メモリデーター覧を確認する」
⑧	メモリデータ表示	読み込んだメモリデータまたはインポートしたメモリデータを表示します。 **参照** ■ 「5.3.5. メモリデーター覧を確認する」

5.3.1. メモリデータを読み込む

1. **[Read Mem No.]**に読み込むメモリ番号を入力します。

補足

- 開始番号に3、終了番号に12を入力すると、3件目から12件目までのメモリデータを読み込みます。
- メモリデータの読み込み完了後、入力した数値はクリアされます。
- **[Read Mem No.]**が空欄の場合は、最新データを読み込みます。

2. Read ボタンをクリックします。

補足

- 読み込み中は、Readボタンが Cancel ボタンに変わります。
- 読み込みを中止する場合は、Cancelボタンをクリックしてください。
- Cancelボタンをクリックした場合、キャンセル時点までに読み込んだデータを表示します。

3. 読み込みの進捗を進捗バーで確認します。
4. 読み込みが完了すると読み込んだメモリデータをファイルに保存するかのダイアログが表示されます。

   必要に応じて表示されたダイアログでメモリデータを保存します。

5.3.2. 表示中のメモリデータを消去する

注記

- 消去したデータは画面上で復元できません。
  データを残しておく場合は「5.3.4. メモリデータをエクスポートする」を参照して、事前にエクスポートしてください。

1. Clearボタンをクリックします。
2. **「現在の表示されているデータを破棄しますか？（事前にファイルエクスポートを推奨します。）」**と警告ダイアログが表示されます。
3. OKをクリックします。

補足

Cancel をクリックすると、データを消去せずにダイアログが閉じます。

4. 表示中のメモリデータが消去されたことを確認します。

5.3.3. メモリデータをインポートする

インポートできるメモリデータの形式はCSV形式ファイルです。
ファイル名は任意です。

1. File Import ボタンをクリックします。
2. ファイル選択ダイアログで、インポートするメモリデータファイルを選択します。
3. メモリデータが表示されたことを確認します。

5.3.4. メモリデータをエクスポートする

メモリデータはCSV形式ファイルでエクスポートされます。
デフォルトのファイル名は「**TD-MemoryDataPC.csv**」です。
ファイル名は任意に変更できます。

1. File Export ボタンをクリックします。
2. フォルダ選択ダイアログで、保存先フォルダを選択します。
3. メモリデータが保存されたことを確認します。

注記

- File Export ボタンによるファイルエクスポートにはソート結果は反映されません。

5.3.5. メモリデーター覧を確認する

メモリデーター覧には、対応製品から読み込んだメモリデータ、またはインポートしたメモリデータを表示します。

WinCT-TDの起動時には、前回表示したメモリデータを表示します。

各列のヘッダを選択すると、メモリデータをソートできます。

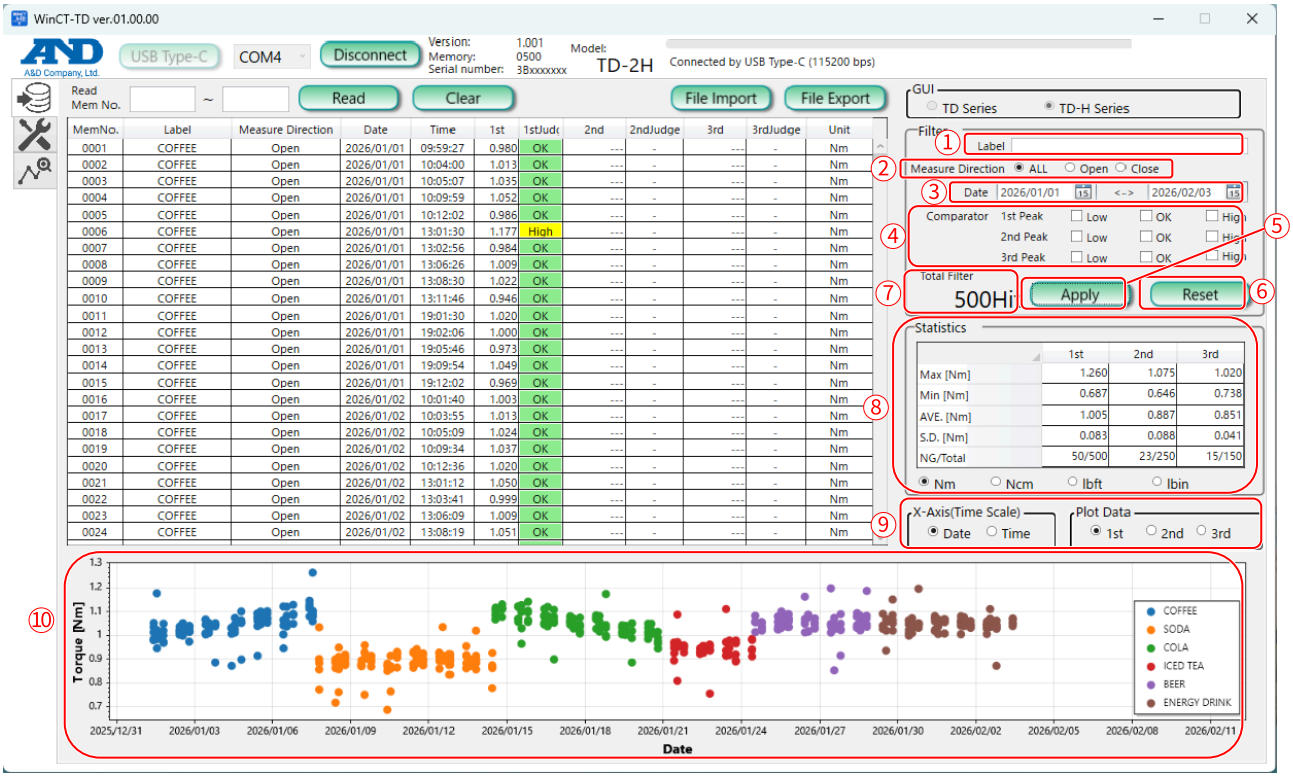
メモリデータのプロット表示中に一覧のデータを選択すると、対応するプロットを赤色で強調表示します。

「5.4. データフィルタ、統計およびグラフ分析」のフィルタで設定した項目のみを表示することもできます。

補足

- メモリデーター覧で変更したソート順は、**File Export**ボタンで出力するファイルには反映されません。
- TDシリーズを選択している場合、次の項目は表示しません。
  - 2nd
  - 2nd Judge
  - 3rd
  - 3rd Judge

5.4. データフィルタ、統計およびグラフ分析



番号	項目	操作・表示内容
①	ラベルフィルタ	表示するデータのラベル名を入力します。 **参照** ■ 「5.4.1. ラベルで絞り込む」
②	計測方向フィルタ	指定した計測方向のデータだけを表示します。 **参照** ■ 「5.4.2. 計測方向で絞り込む」
③	日付フィルタ	指定した期間に計測されたデータだけを表示します。 **参照** ■ 「5.4.3. 日付で絞り込む」

番号	項目	操作・表示内容
④	判定フィルタ（1st/2nd/3rdそれぞれ）	1st、2ndおよび3rdの判定結果を指定します。 **参照** ■ 「5.4.4. 判定結果で絞り込む」
⑤	Apply ボタン	設定したフィルタでメモリデータ表示、統計処理結果、グラフプロットを更新します。 **参照** ■ 「5.4.5. フィルタを適用する」
⑥	Reset ボタン	フィルタ設定を初期状態にリセットします。 **参照** ■ 「5.4.6. フィルタをリセットする」
⑦	フィルタヒット件数	Apply ボタンをクリックすると、設定したフィルタに該当する件数を表示します。 **参照** ■ 「5.4.5. フィルタを適用する」
⑧	統計結果表示（MAX、MIN、AVE.、S.D.、NG/Total）	Apply ボタンをクリックすると、設定したフィルタに該当する統計結果を表示します。 **参照** ■ 「5.4.7. 統計結果を確認する」
⑨	グラフ表示オプション（X-Axis、Plot Data）	グラフの横軸および表示するデータ群を変更します。 **参照** ■ 「5.4.8. グラフ表示を変更する」

番号	項目	操作・表示内容
⑩	メモリデータグラフ表示	メモリデータをグラフ表示します。 **参照** ■ 「5.4.9. グラフのプロットを確認する」

5.4.1. ラベルで絞り込む

ラベルフィルタには、検索するラベル名を入力します。

ラベルフィルタは前方一致で検索します。

使用例：**WATER_01**と**WATER_02**をまとめて表示する場合は、**WATER**と入力します。

5.4.2. 計測方向で絞り込む

計測方向フィルタで、表示する計測方向を設定します。

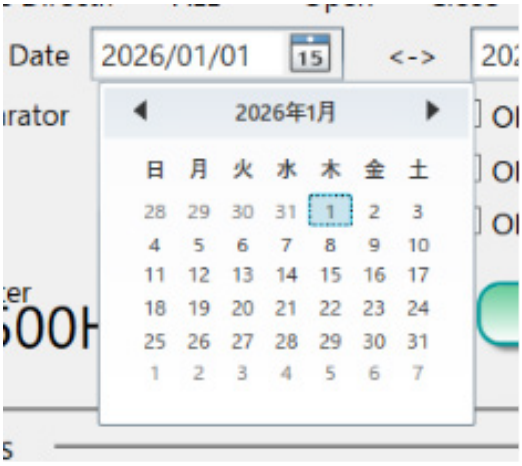
設定した計測方向に一致するメモリデータ、統計結果およびグラフプロットを表示します。

使用例：開栓測定のみ、または閉栓測定のみの結果を確認したい場合に使用します。

5.4.3. 日付で絞り込む

日付フィルタで、表示するデータの期間を設定します。

カレンダーアイコンをクリックすると、日付を設定できます。



使用例：1週間のトルク値変化の傾向などを確認したい場合に使用します。

5.4.4. 判定結果で絞り込む

判定フィルタでは、1st、2ndおよび3rdのコンパレータ結果でデータを絞り込めます。

表示する判定結果にチェックを入れてください。

使用例1：1st、2ndおよび3rdのすべてがOKのデータを表示する場合は、各判定の**OK**にチェックを入れます。

使用例2：1stがLowのデータのみを確認したい場合は、1stの**Low**にチェックを入れます。

補足

- TDシリーズを選択している場合、次の項目は表示しません。
  - 2nd Peak Low
  - 2nd Peak OK
  - 2nd Peak High
  - 3rd Peak Low
  - 3rd Peak OK
  - 3rd Peak High

5.4.5. フィルタを適用する

1. フィルタ条件を設定します。
2. Apply ボタンをクリックします。
3. フィルタに一致するメモリデータ、統計結果およびグラフプロットが表示されたことを確認します。

フィルタヒット件数には、フィルタ条件に一致したデータ件数を表示します。

5.4.6. フィルタをリセットする

1. Reset ボタンをクリックします。
2. フィルタ条件が初期状態に戻ったことを確認します。

5.4.7. 統計結果を確認する

Apply ボタンをクリックすると、フィルタ条件に一致するデータの統計結果を表示します。

表示する統計項目は次のとおりです。

- MAX
- MIN
- AVE.
- S.D.
- NG/Total

表示単位はラジオボタンで**Nm**、**Ncm**、**lbft**、**lbin**の4つから変更できます。

変更した単位は、プロットデータの縦軸にも反映されます。

補足

- 統計値は、フィルタ条件に一致するメモリデータを対象に、絶対値で算出します。
  未測定のデータ（欠損値）は統計値の算出対象に含めません。
- S.D.は不偏標準偏差です。

$$s = \sqrt{\frac{1}{n-1}\sum_{i=1}^{n}(x_i - \bar{x})^2}$$

5.4.8. グラフ表示を変更する

グラフ表示オプションでは、次の項目を変更できます。

項目	設定内容
X-Axis	横軸をDateまたはTimeから選択
Plot Data	1st、2nd、3rdから表示するデータを選択

日ごとの変化を確認する場合は、**X-Axis**を**Date**に設定します。

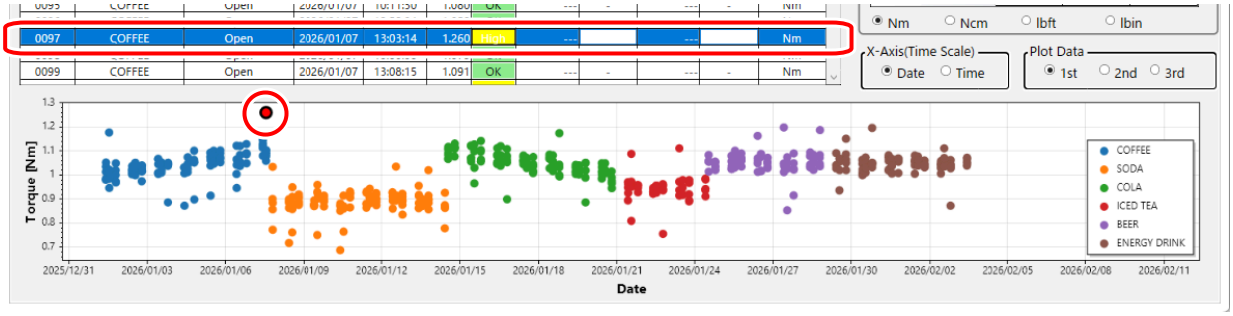
時間帯ごとの傾向を確認する場合は、**X-Axis**を**Time**に設定します。

5.4.9. グラフのプロットを確認する

メモリデータグラフには、フィルタ条件に一致するメモリデータをプロット表示します。

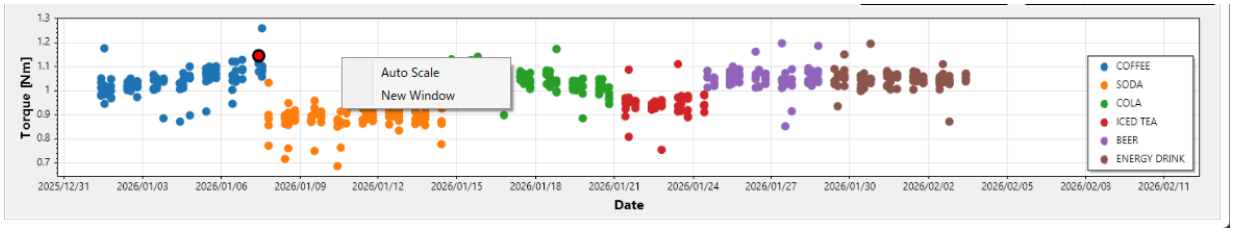
プロットを左クリックすると、選択したプロットを赤色で強調表示します。

プロットを選択すると、対応するメモリデータを特定できます。



グラフ上で右クリックすると、次のメニューを表示します。

- **Auto Scale**：グラフを自動スケールで表示します。
- **New Window**：グラフを新しいウィンドウで表示します。



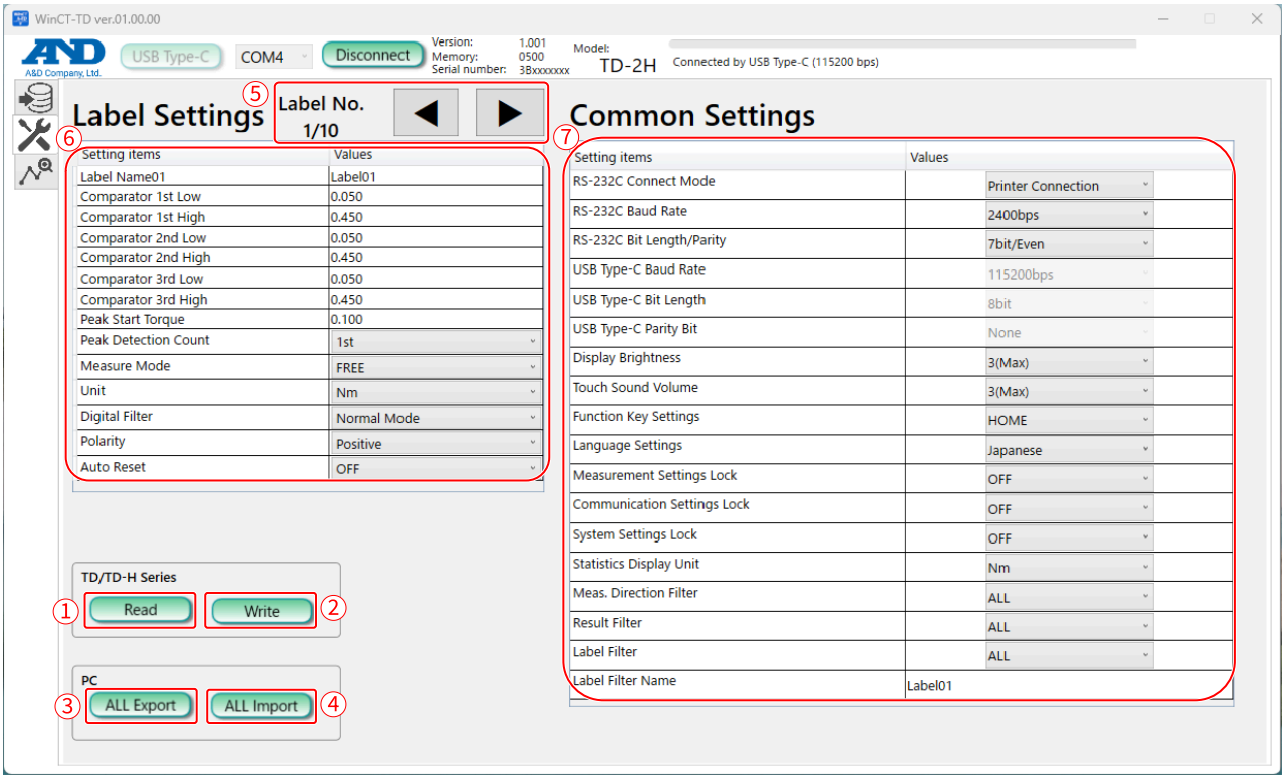
補足

- グラフの横軸は、グラフ表示オプションの**X-Axis**で**Date**または**Time**を選択できます。
- 縦軸の単位は、統計結果表示の単位設定ラジオボタンで**Nm**、**Ncm**、**lbft**、**lbin**から選択できます。
- **New Window**で開いたウィンドウは、画面右上の［×］をクリックして閉じます。

注記

- WinCT-TDにはグラフ画像を出力または保存する機能はありません。
  画像として保存する場合は、Windowsのスクリーンショット機能を使用してください。

5.5. 設定値を操作する



番号	項目	操作・表示内容
①	Read ボタン	対応製品から設定値を読み込みます。 **参照** ■ 「5.5.1. 設定値を読み込む」
②	Write ボタン	対応製品に設定値を書き込みます。 **参照** ■ 「5.5.2. 設定値を書き込む」
③	ALL Export ボタン	XML形式の設定ファイルに設定値を出力します。 **参照** ■ 「5.5.3. 設定値をエクスポートする」
④	ALL Import ボタン	XML形式の設定ファイルの設定値をインポートして反映します。 **参照** ■ 「5.5.4. 設定値をインポートする」
⑤	ラベル番号切り替え ◀ ▶	設定する計測設定のラベル番号を切り替えます。 **参照** ■ 「5.5.5. ラベル番号を切り替える」
⑥	計測設定	計測設定の表示または変更します。 **参照** ■ 「5.5.6. 計測設定と共通設定を変更する」

番号	項目	操作・表示内容
⑦	共通設定	共通設定の表示または変更します。 **参照** ■ 「5.5.6. 計測設定と共通設定を変更する」

5.5.1. 設定値を読み込む

1. 対応製品に接続します。
2. 設定画面を表示します。
3. Read ボタンをクリックします。
4. 対応製品の設定値が表示されたことを確認します。

5.5.2. 設定値を書き込む

注記

- 設定値を書き込むと、対応製品の設定が変更されます。
- 書き込み前に、設定値が正しいことを確認してください。

1. 対応製品に接続します。
2. 設定画面を表示します。
3. 設定値を変更します。
4. Write ボタンをクリックします。
5. 対応製品に設定値が書き込まれたことを確認します。

注記

- 書き込み中に通信が切断された場合、切断前に正常に送信された設定は反映されますが、切断後の設定は反映されません。設定変更が途中で停止するだけで、対応製品本体への影響はありません。
  ケーブルやAD-8541などの接続状態、COMポート、および対応製品本体の通信設定を確認し、再接続してから **Write** ボタンを再度クリックしてください。
- WinCT-TDから設定を初期化することはできません。
  設定を初期化する場合は、対応製品本体で操作してください。
  操作方法は、対応製品の取扱説明書を参照してください。

5.5.3. 設定値をエクスポートする

1. **ALL Export** ボタンをクリックします。
2. フォルダ選択ダイアログで、保存先フォルダを選択します。
3. 設定ファイルが保存されたことを確認します。

WinCT-TDは、次の設定ファイルを出力します。

- 計測設定ファイル：**Label_xx_***.xml**
- 共通設定ファイル：**TD-commonSettingFile.xml**

同名のファイルが保存先に存在する場合は、確認ダイアログが表示されます。

補足

- ファイル名「**Label_xx_***.xml**」の**xx**には**01**～**10**のラベル番号が入ります。
  ***には任意のラベル名（Label Name）が入ります。
- **ALL Export** を実行した場合、設定されているLabel Nameの文字列が使用されます。

5.5.4. 設定値をインポートする

1. インポートする設定ファイルを1つのフォルダに格納します。
2. ALL Import ボタンをクリックします。
3. フォルダ選択ダイアログで、設定ファイルを格納したフォルダを選択します。
4. 設定値が画面に反映されたことを確認します。

選択するフォルダには、次のファイルだけを格納してください。

TDシリーズ：

- **Label_01_[ラベル名].xml**の計測設定ファイル：1個
- **TD-commonSettingFile.xml**：1個

TD-Hシリーズ：

- **Label_01_[ラベル名].xml**から**Label_10_[ラベル名].xml**までの計測設定ファイル：10個
- **TD-commonSettingFile.xml**：1個

記述形式が異なるファイルはインポートできません。

次のいずれかで出力した設定ファイルを使用してください。

- TDシリーズ
- TD-Hシリーズ
- WinCT-TD

5.5.5. ラベル番号を切り替える

ラベル番号切り替えボタンで、編集する計測設定のラベル番号を選択できます。

補足

- TDシリーズを選択している場合、ラベル番号切り替えボタンは表示しません。

5.5.6. 計測設定と共通設定を変更する

計測設定表示では、選択したラベル番号の計測設定を表示および変更できます。

共通設定表示では、共通設定を表示および変更できます。

設定可能な項目は、製品型式によって異なります。

参照

- 設定項目の詳細は、TDシリーズまたはTD-Hシリーズの取扱説明書を参照してください。

5.6. 時系列グラフを操作する



番号	項目	操作・表示内容
①	波形表示グラフ	トルク波形が表示されるエリアです。 **参照** ■ 「5.6.3. 波形の表示内容を確認する」
②	Start ボタン／ Stop ボタン	Start ボタンでストリーム接続を開始します。 Stop ボタンでストリーム接続を終了します。 **参照** ■ 「5.6.1. ストリーム受信を開始する」 ■ 「5.6.2. ストリーム受信を停止する」
③	自動オートスケール	チェックを入れると、ストリーム接続の停止時にグラフの表示範囲を自動調整します。 **参照** ■ 「5.6.6. グラフを操作する」
④	トルク最大値表示	取得したトルク値の最大値を表示します。 **参照** ■ 「5.6.3. 波形の表示内容を確認する」
⑤	トルク最小値表示	取得したトルク値の最小値を表示します。 **参照** ■ 「5.6.3. 波形の表示内容を確認する」

番号	項目	操作・表示内容
⑥	トルク現在値表示	ストリーム受信中のトルク現在値を表示します。 単位は、接続中のTDシリーズまたはTD-Hシリーズの単位設定に従って切り替わります。 トルク現在値の前に表示されるSTは安定、USは非安定を表します。 **参照** ■ 「5.6.3. 波形の表示内容を確認する」
⑦	Export ボタン	ストリーム接続で取得したトルク値をCSV形式ファイルで保存します。 **参照** ■ 「5.6.4. 波形データをエクスポートする」
⑧	Import ボタン	TDシリーズ、TD-HシリーズまたはWinCT-TDで保存したCSV形式ファイルを読み込み、グラフに表示します。 **参照** ■ 「5.6.5. 波形データをインポートする」

5.6.1. ストリーム受信を開始する

前提条件

- 対応製品とWinCT-TDを接続してください。
- 対応製品の画面をHOME画面にしてください。

1. 時系列グラフ画面を表示します。
2. Start ボタンをクリックします。
3. ボタン表示が Stop に変わったことを確認します。
4. 波形表示グラフにトルク波形が表示されたことを確認します。

注記

- 対応製品に接続していない場合、Startボタンは選択できません。
- ストリーム受信を開始すると、前回のストリーム受信データおよびファイルから読み込んだグラフを消去します。
- ストリーム受信は最大100秒間実行できます。

5.6.2. ストリーム受信を停止する

1. Stopボタンをクリックします。
2. ボタン表示がStartに変わったことを確認します。

自動オートスケール機能を有効にしている場合、ストリーム受信の停止時に波形表示グラフを自動スケールで表示します。

5.6.3. 波形の表示内容を確認する

波形表示グラフには、ストリーム受信したトルク波形を表示します。

縦軸の単位は、接続中の対応製品の単位設定に従います。

注記

- WinCT-TDに表示される最大値および最小値は、通信サンプリングの影響により、対応製品のピークホールド値と一致しない場合があります。

5.6.4. 波形データをエクスポートする

1. Exportボタンをクリックします。
2. 保存ファイル指定ダイアログで、保存先およびファイル名を指定します。

3. CSV形式ファイルの波形データファイルが保存されたことを確認します。

5.6.5. 波形データをインポートする

1. Import ボタンをクリックします。
2. ファイル選択ダイアログで、CSV形式ファイルの波形データファイルを選択します。
3. 波形表示グラフにデータが表示されたことを確認します。

WinCT-TDでは、次のCSV形式ファイルをインポートできます。

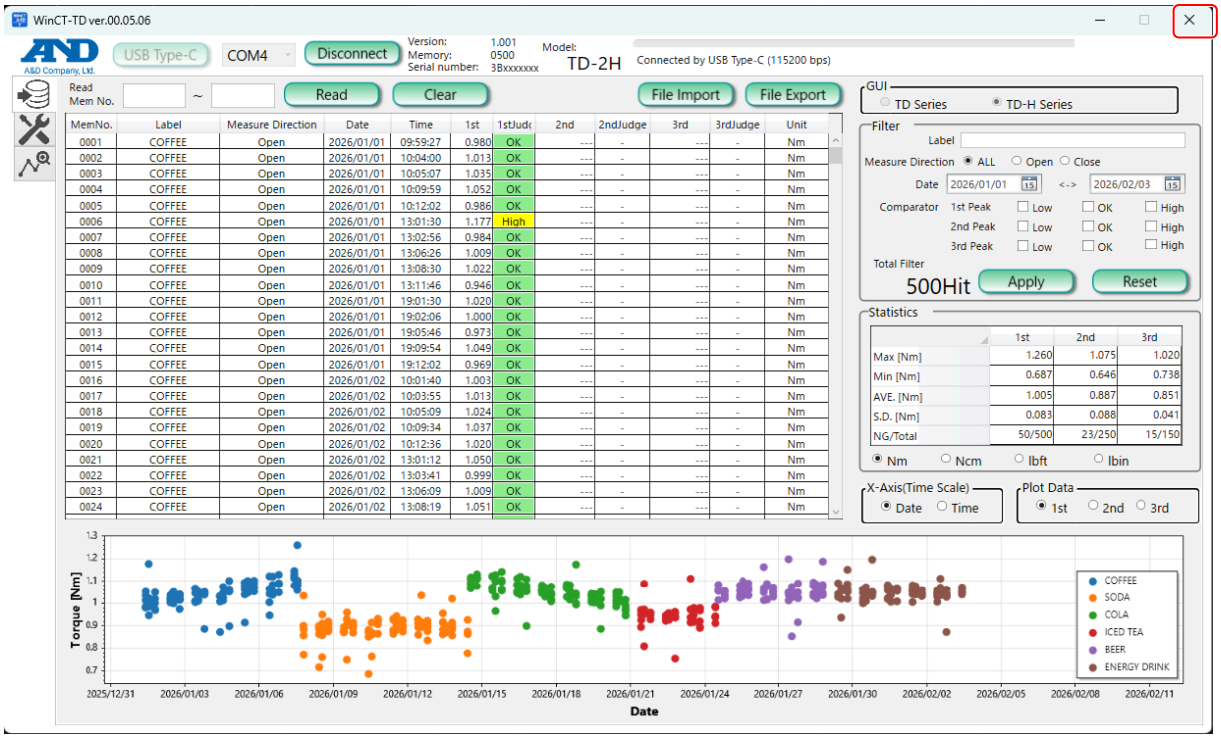
- 対応製品で保存したCSV形式ファイル
- WinCT-TDで保存したCSV形式ファイル

5.6.6. グラフを操作する

操作	動作
マウスホイール	X軸とY軸を同時に拡大または縮小します。
Shift + マウスホイール	Y軸だけを拡大または縮小します。
Ctrl + マウスホイール	X軸だけを拡大または縮小します。
グラフ上をドラッグ	グラフの表示位置を移動します。

コンテキストメニューの**Auto Scale**を選択すると、グラフを自動スケールで表示します。

5.7. WinCT-TDを終了する



1. 画面右上の**[×]**を選択します。

2. 「**アプリケーションを終了しますか？**」と表示されたことを確認します。

3. **[はい(Y)]**を選択します。

4. WinCT-TDが終了したことを確認します。

6. 使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

お問い合わせフォームへ入力いただくか、お電話でのお問い合わせ先までお問い合わせください。

お問い合わせフォーム



https://www.aandd.co.jp/support/contactus/test.html

お電話でのお問い合わせ先

電話 048-593-1743 （東日本：FE2課）

電話 06-7668-3908 （西日本：FE3課）

受付時間: 9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更したりすることがありますのでご了承ください。

[白紙]

使い方･修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

東日本　　048-593-1743

西日本　　06-7668-3908

受付時間:9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日（祝日、弊社休業日を除く）
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

株式会社 エー・アンド・デイ

本社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋３－２３－１４　ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

東京営業２課　TEL. 03-5391-6121(直)
東京営業３課　TEL. 03-5391-6122(直)
東京営業１課　TEL. 03-5391-6128(直)
札幌出張所　TEL. 011-251-2753(代)
仙台営業所　TEL. 022-211-8051(代)
宇都宮営業所　TEL. 028-610-0377(代)
東京北営業所　TEL. 048-592-3111(代)
東京南営業所　TEL. 045-476-5231(代)
静岡営業所　TEL. 054-286-2880(代)
名古屋営業所　TEL. 052-726-8760(代)
大阪営業所　TEL. 06-7668-3900(代)
広島営業所　TEL. 082-233-0611(代)
福岡営業所　TEL. 092-441-6715(代)

※ 2019年10月29日現在の電話番号です。電話番号は、予告なく変更される場合があります。
※ 電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いします。

開発技術センター　〒364-8585 埼玉県北本市朝日１－２４３